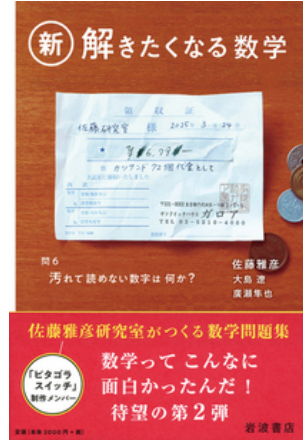


## 新着図書紹介(一部)



『イラストでつながる薬のはたらき』  
はっしー：著、木元貴祥：編著、くすり子：イラスト KADOKAWA

専門用語を抑えた、世界一わかりやすい薬の解説書です。イラストに隠された「暗号」を読み解くことで、薬の作用や副作用が直感的に理解できる工夫が満載。医療初学者だけでなく、患者さんや子どもへの説明にも最適です。視覚的にイメージを掴むことで、薬への不安を解消し、知識を身近な味方に変えてくれる本。



『新解きたくなる数学』  
佐藤雅彦、大島遠、廣瀬準也：著 岩波書店

ピタゴラスイッチ制作陣による、写真とグラフィックが魅力的な数学パズル集。新作25問を通じ、論理的思考と鑑賞の「ひらめき」を体験できます。世代を問わず、変化に強いしなやかな知性を養える、新感覚の知的冒険書。



『ビジュアルで読み解く民族と世界情勢』  
鈴木達人：監修 三オブックス

世界情勢の裏側に潜む「民族」という視点から、現代の紛争や対立の根源を視覚的に解き明かします。漢民族からコダヤ、グルドまで、各民族の居住地や歴史的背景、抱える問題を豊富な地図や写真で解説。複雑に絡み合う国際ニュースの解像度を高め、文化や経済、社会問題の根底にある本質的な繋がりを理解させてくれます。



『和食のミライ 食文化と地域を守る』  
佐藤洋一郎：著 岩波書店

世界無形文化遺産として海外でも愛され、今や訪日客の最大の目的ともなっている「和食」。本書はその輝かしい魅力や歴史を紐解くだけでなく、現代の食文化が抱える深刻な課題にも鋭く切り込みます。伝統を未来へ正しく繋いでいくために、私たちは今どのような選択をすべきなのか。多角的な視点から和食の明日を考えます。



『センスがいい！がすぐできるイラスト配色モチーフBOOK』  
小尾洋平(オビワン)：著 KADOKAWA

レトロ可愛い19つのテーマ別に、配色アイデアと作例を提案する一冊。2〜4配色のパレット構成や色の配分、イラスト・ロゴのデザイン例を豊富に掲載。直感的にイメージを掴みやすく、実用性とセンスを兼ね備えた本です。



『10代のうちに知っておきたい心の守り方』  
栗本顕：著 かんき出版

「自分だけじゃないんだ」と心が軽くなる、1万人の中学生を救ってきた著者からのメッセージ。SNSの人間関係や家庭のモヤモヤなど、今の中生たちが直面するリアルな悩みや正体と解決策をズバツと解説。一人で抱え込んでパンクしそうなのはもちろん、周囲の大人にも知ってほしい「今の若者のリアル」が詰まった本。



『自衛隊と憲法 第3版 危機の時代の憲法改正11の論点』  
木村草太：著 晶文社

世界各地で力による支配が加速し、国内でも改憲議論が急速に高まる今、憲法の真価が問われています。本書は自衛隊明記や緊急事態条項、さらには核保有の是非まで、避けて通れない改憲論点を網羅した最新のハンドブックです。情勢が緊迫する時代だからこそ、日本を守る盾としての9条を見つめ直し、冷静に未来を選択するための視座を提供します。



『トコトンやさしいバスの本 今日からモノ知りシリーズ』  
成定竜一：編著、井原雄人：著 日刊工業新聞

国生活の足である路線バスの経営難や、高機能化が進む高速バスの差別化戦略など、激変するバス業界の現状を多角的に分析します。車両の構造から運転・運行システム、乗降の仕組み、さらには最新のビジネスモデルまで、あらゆる角度からバスの仕組みを徹底解剖。



『アブダクション英語学習法 認知科学者がAI時代に伝えたい独学の技法』  
今井むつみ：著 日経BP

日本人の英作文が「I think」ばかりになる原因を認知科学の視点で解剖。暗記ではなく「アブダクション推論」を用い、中学レベルの知識でAIを使いこなしながら地頭も鍛える画期的な学習法を提案します。バスター著者・今井むつみ氏が贈る、仕事や人生に直結する大人の学び直しに最適な独学バイブル。



『iPS細胞と医療 最新技術でどこまで臓器は治せるか』  
高山和雄：著 講談社

マウスiPS細胞の誕生から20年、ノーベル賞受賞を経て、ついに再生医療は製品化のフェーズへ。本書は、ミニ臓器「オルガノイド」研究のトップランナーが、研究の歩みと最前線を徹底解説します。21世紀の医療革命といわれるiPS技術の現在地から、創薬の未来までを一瞥できる、理系なら見逃せない一冊。



『それでもまた誰かを好きになる』  
光文社文庫編集部：編集 光文社文庫

とびきり不幸でもないけれど、完璧な幸せでもない。そんな大人たちを描いた、人気作家たちによる恋愛アンソロジー。CLASSY. ONLINEに掲載した「つまみ食い恋」がテーマの連載を、文庫にまとめた短編小説集です。



『改訂版 正しく効果的に巻ける！テーピングの新しい教科書』  
石川修盟：著 日本文芸社

オールカラーの写真で「巻き方の基本」や「部位別・症状別の巻き方」などのポイントやコツを基本からやさしく伝え、その状況に合わせたテーピングの種類も同時に伝えており、まさにテーピング術の決定版となる一冊。



『よくわかる栄養学 マンガと図解で身につく』  
小林実夏：監修、著 ユーキャン学び出版

マンガと図解で、栄養の基本から不調時の対策までを楽しく学べる一冊です。巷に溢れる不確かな健康情報に惑わされず、自分に必要な栄養や正しい食べ方を判断できる知識が身につきます。「なぜバランスの良い食事が大切か」という根本的な疑問を解消。今の自分に最適な食生活を見つけた人にぴったりの入門書です。



『小さな化学式の図鑑』  
ガリレオ工房：監修 三オブックス

日々の暮らしに溢れるモノの正体を「化学式」から読み解くビジュアル図鑑です。食べ物や医療、産業など身近なテーマを軸に、その性質や意外なエピソードを美しい写真やアートと共に解説。難しい専門用語を抜きにして「なるほど」と直感的に楽しめる構成のため、理系科目に苦手意識がある人でも化学の世界を堪能できます。



『最後の魔法』  
駄犬：著 新潮文庫nex 新潮社

科学の発展で魔法使いが影を潜めた現代を舞台に、魔法を志す櫻子と彼女を支える親友・凜の歩みを綴ります。小学校での出会いから、社会の荒波に揉まれ別々の道へと進む二人の絆を情緒豊かに描く。一人の魔法使いが人生の果てに起こした「奇跡」とは何だったのか。変わりゆく時代の中で紡がれる、切なくも温かな友情の物語。



『生きる言葉』  
俵万智：著 新潮新書 新潮社

スマホやネットが当たり前になり、顔の見えない相手ともつながる現代。言葉の使い方がそのまま「生きる力」になる時代に、どう日本語を磨けばいいのでしょうか。本書は歌人の視点から、恋愛やSNS、AIとのやり取りまで、身近なシーンを考察します。日々の実体験を通して、人との繋がりを豊かにする言葉のヒントを提案します。